

59/3



日本共産党の政策

合同新書 11

1956年4月25日 初版発行

¥ 120.

編 者

日本共産党中央委員会  
宣 伝 教 育 調 査 部

発 行 者

竹 森 久 次

印 刷 所

株 式 会 社 三 秀 舎

発行所

東京都千代田  
区飯田町2 14

株式  
会社

合 同 出 版 社

電話(33)7677 振替東京 65422  
出版団体 木 曜 会 会 員

落丁本・乱丁本はおとりかえいたします

## はしがき

まじめな国民のだけれども、もっと人間らしい暮らしのできることをのぞんでいる。そして、いまのような政治が、根本的にかわることを希望している。

明るく、平和な生活、そして自主独立の政治。これが、わが国民の痛切なねがいである。

鳩山政府と自由民主党も、この切実な国民のねがいを無視することはできない。そこで「平和外交」や「自主憲法」をとнаえ、「経済自立五カ年計画」などを宣伝している。こういう自由民主党の政策が国民になにをもたらすか？　これを、ハッキリと、事実にてらしてつかみ、いまなお自由民主党に希望をつないでいる多数の国民がその正体を見きわめることができるように助けることは、共産党員だけでなく、すべての自覚した労働者、誠実な社会民主主義者にとっての義務である。

民族の独立と平和、そして民主主義をかちとる光栄ある事業に成功するため、われわれは、どんな困難があっても、広はんな国民大衆のあいだで、この義務をはたさなければならない。そして、わが国民の多数が、世界の大勢を正しく見、祖国の現状をありのままにつかみ、共同の敵を知って、ともにしっかり手をたずさえてたたかうことができるように、ふんとうしなければならぬ。

そこで、われわれは、国民の日常生活の諸問題、外交や、憲法の問題、基地問題や平和運動などにわたって、真実を知ろうとする国民の真剣な疑問にこたえ、自由民主党の政策を事実にてらして批判し、

アメリカや日本の反動勢力の方針とまっこうから対決しているわが党の政策をわかりやすくまとめた。

それぞれの問題についての基礎的な数字や、国民として見逃すことのできない事實は、できるだけなくおさめてあるから、手ごろな政治必携として、現代日本の政治の基礎知識をあたえるであろう。

最近ひらかれたソ同盟共産党第二〇回大会は、世界史のうえでの大きな出来事であり、民族の独立、平和と民主主義をめざしてたたかっているわが国民にとっても、重大な意義をもっている。大会では社会主義が世界的体制になって、資本主義よりも力づよくなり、世界情勢のなかに根本的な変化がおこっていることがあきらかにされている。さらに、九億の人民が社会主義に進んでいること、一五億の平和の地域が生まれたこと、こうしてアジアとアフリカの人民が世界の運命を決するうえで大きな役割を果しはじめていること——またこうした情勢のなかで、戦争が不可避でなくなったこと、また資本主義国のなかでは平和的手段で社会主義を実現できる可能性がうまれたことなどが、あきらかにされている。

このような時代に、アメリカの指図にしたがって、わが国の反動勢力は、わが国民をアジア諸民族にたいする憲兵に仕立て、ふたたび、軍国主義と戦争への道にひきずりこもうとしている。だが、わが国民にとっては、中国やインドの人民とともに、平和共存の原則にしたがって、自主独立へすすむことこそただひとすじの道である。

この本を読まれるならば「平和外交」といい、「自主憲法」をとえながら、自由民主党が、わが国民をひきこもうとしている道が迷路であり、国民にとって大きな不幸だということがわかるであろう。そして読者は、明るく、平和な生活と、自主独立の政治を実現するために、どうすすむべきかをつかま

れるであろう。

手ごろな大きさにまとめてあるために、国際情勢や、わが国民の運命に大きな影響をもつ隣国ソヴェトや中国の状態については、くわしくふれていない。理論的な問題をふくめて、これらについて立ちいって学ぼうとされる方は、日本共産党中央委員会翻訳委員会訳『ソ同盟共産党第二〇回大会』を手引きとして研究していただきたい。また、わが党の綱領や方針を知りたい方には『日本共産党第六回全国協議会決議集——付綱領』（共産党発行、定価四〇円）をおすすめする。

なお、この本は、日本共産党中央委員会宣伝教育調査部が編集にあたった。今後版をあらためるごとに、さらに充実したものにしていく方針なので、読者のご協力を期待する。

昭和三十一年四月五日

野 坂 参 三

目次

外交

|                  |      |
|------------------|------|
| 日ソ国交回復はなぜ急ぐのか？   | (二)  |
| ソ連参戦は中立条約の違反か？   | (五)  |
| なぜ領土返還より国交が先か？   | (九)  |
| ソ連の日本に対する態度は？    | (一二) |
| 二つの中国のどちらが本当か？   | (一五) |
| 中ソ同盟条約は日本を敵とするか？ | (一八) |
| 中国の日本に対する態度は？    | (二〇) |
| 中国との国交は日本にとくか？   | (二三) |
| 日中貿易はかけこえばかりか？   | (二四) |
| 日韓関係が悪化しているのは？   | (二七) |
| 自民党の平和外交とはなにか？   | (三〇) |

- 賠償の問題をどう考えるか？……………(三)
- 自民党の占領諸法規改廃とは？……………(三)
- 自民党は安保条約を改めるか？……………(三)
- アメリカの援助なしにやれるか？……………(四)

## 基地

- 自衛力を整えて基地をへらせば？……………(四)
- 米軍基地なしで日本は安全か？……………(四)
- 沖縄の実情はどうなっているか？……………(五)
- 在日米軍はどんな特権をもつか？……………(五)
- 基地拡張は安保条約で仕方ないか？……………(五)
- 原水爆基地とはどんな基地か？……………(五)
- 占領米軍による被害の補償は？……………(六)
- 再軍備の日本民族への影響は？……………(六)
- 日本の平和を保障するものは？……………(六)

## 憲 法

|                       |      |
|-----------------------|------|
| 米国製の憲法は改訂すべきか？……………   | (六)  |
| 「法治国」日本の憲法はどうか？……………  | (七一) |
| 共産党は現憲法に反対しないのか？…………… | (七四) |
| 共産党はいまも天皇制反対か？……………   | (七七) |
| 日本が従属国だということは？……………   | (八一) |

## 平 和

|                      |       |
|----------------------|-------|
| ジュネーヴ精神は消滅したか？……………  | (八六)  |
| 平和五原則とバンドン精神とは？…………… | (九〇)  |
| 原水爆禁止署名の効果は？……………    | (九六)  |
| 自民党の原子力平和利用とは？……………  | (九八)  |
| 原子兵器反対は時代おくれか？……………  | (一〇〇) |
| 原子力研究をいま急ぐべきか？……………  | (一〇二) |

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 自民党の原水爆禁止は本物か？  | (104) |
| 原爆ぎせい者の救援はどうか？  | (106) |
| 話しあいで戦争をふせげるか？  | (109) |
| 自民党の国際文化政策は何か？  | (113) |
| 平和活動家は今後何をすべきか？ | (115) |

## 経 済

|                 |       |
|-----------------|-------|
| 経済自立五カ年計画はどうなる？ | (110) |
| 税金ほんとうには安くなるか？  | (113) |
| 政府は中小企業をどうする気か？ | (116) |
| 失業と就職難はどうなるか？   | (118) |
| 中国貿易は大衆の利益になるか？ | (121) |
| 貿易拡大で失業はへるか？    | (124) |
| 労働基準法は実情にあわぬか？  | (127) |
| 経済自立に労資協調は必要か？  | (131) |

|                    |       |
|--------------------|-------|
| 最低賃金制は実施できないか？     | (一四二) |
| 労働戦線は統一できないのか？     | (一四三) |
| 国際自由労連と自民党の関係は？    | (一四六) |
| 余剰農産物の輸入の影響は？      | (一四九) |
| 政府は食糧の増産に熱心か？      | (一五二) |
| 開拓入植は成功しているのか？     | (一五五) |
| 米の統制撤廃は歓迎すべきか？     | (一五八) |
| 肥料はもっと安くならないか？     | (一六一) |
| 農村はなぜ毎年貧しくなるか？     | (一六三) |
| 土地取上げ・小作料引上げをどうする？ | (一六六) |
| 農家の二三男はどうしたらよいか？   | (一七〇) |
| 風水害の復旧の実情はどうか？     | (一七三) |
| 沿岸漁民の生活はどうか？       | (一七五) |
| 山林や未開墾地の解放はどうか？    | (一七八) |
| 農協は農民に役立つものか？      | (一八二) |

農業団体再編成とはなにか？……………（一八五）  
 酪農を発展させるのには？……………（一八九）  
 農家の税金はかなくなったか？……………（一九二）

## 社会 保障

社会保障をうけるのは恥か？……………（一九六）  
 生活保護と遺家族扶助はどうなる？……………（一九九）  
 国民健康保険は改善されぬか？……………（二〇二）  
 医薬分業は私たちに損か得か？……………（二〇四）  
 健康保険の改正のねらいは？……………（二〇六）  
 結核をへらすにはどうしたらよいか？……………（二〇九）

## 婦 人 ・ 家 庭

婦人はなぜ職場で差別されるか？……………（二一四）  
 托児所はなぜふえないのか？……………（二一六）

|                  |      |
|------------------|------|
| 売春禁止問題をどう考えるか？   | (二八) |
| 戦後の教育は偏向しているか？   | (三〇) |
| 小学生の学力低下をどうするか？  | (三三) |
| 修身教育で道義を立直せるか？   | (三四) |
| 教科書は国定にしたらどうか？   | (三六) |
| 民族文化の危機をどうして救うか？ | (三九) |
| 共産党は信仰をみとめないか？   | (四二) |
| 政府の新生活運動に賛成か？    | (四四) |

## 政 治

|                    |      |
|--------------------|------|
| 共産党は暴力革命をたくらむか？    | (三八) |
| 共産党は議会政治を否定しないか？   | (四一) |
| 共産党のいう独立はソ連のヒモつきか？ | (四四) |
| 社共の協力は可能なのか？       | (四七) |
| 保守合同で政治はよくなるか？     | (五〇) |

|                      |      |
|----------------------|------|
| 二大政党の対立は理想的か？……………   | (二五) |
| 小選挙区制で国会はどうなる？……………  | (二五) |
| 労働組合の政党支持の自由とは？…………… | (二六) |
| 地方自治体の赤字はどうなる？……………  | (二六) |
| 防衛分担金はへらせるか？……………    | (二六) |
| 毅然たる中立の道はないか？……………   | (二六) |
| 民族解放民主統一戦線とは？……………   | (二九) |

# 外 交



## 日ソ国交回復は なぜ急ぐのか？

### 問 1

休会になった日ソ交渉をみていると  
ソ連は国交回復をいそいでいたのに、  
日本がわのほうでジックリ構えている  
ような印象をうけます。そして新聞で

はしきりと、相手が相手だけには  
やっでは損をするから、どこまで  
もねばって、領土や戦犯釈放の要  
求を貫徹してから、国交を回復せ  
よと主張しています。

日ソ交渉はどうしてこんなには  
かどらないのですか？ ソ連が頑  
迷だからですか、それとも日本側  
がぐずぐずと「茶のみ話」ばかり  
していたからですか。また社会党  
や共産党がつよく主張しているように  
早期妥結すれば、どんな利益がわれわ  
れ日本人にあるのでしょうか？

### 答

となり近所の国ぐにとわけへだてなく仲よく  
することは、国として当然すぎるほど当然な  
ことといえましょう。それが、おかしなことに、終戦後  
一〇年たった今日、ソヴェトとの関係は、国際法上の戦  
争状態がつづいたままです。貿易や漁業の問題、文化の  
交流などもまだ正式には解決していない状態です。北海  
道、裏日本の漁民も水産業者も、一日も早く北洋方面へ  
安心して出漁できることを心からねがっています。安い  
石炭や石油、木材などをソヴェトから輸入し、ソヴェト  
がわでほしがっている船舶その他を輸出することは、日  
本にとってひじょうな利益になることは明らかです。

また相互に文化の交換をますますさかんにしていくこ  
とも国民のつよい要望です。

わが国民が、ソヴェトとの国交回復に成功すれば、日  
本とソヴェトとの平和共存を実現できるばかりでなく、  
国内政治でももっと民主的で、自主独立の方向に前進で  
きるのです。また国交回復自体、わが国民がアジアと世

界の平和に貢献できる大きな事業だ、ということです。松本全権も、昨年九月ロンドンから帰ってきたときに、日本はソヴェトと国交がないために、ソヴェト大使館のパーティーにも招待されないが、これに顔をだせない国は、ロンドンの外交界でも、たいへん損をしている、とのべています。ソヴェトの国際的地位は、今日では文字どおり動かしがたいもので、わが国がこれを無視していることは、イギリスの新聞でさえ、物笑いにしているありさまです。わが国が、アメリカの強制によって、ソヴェトや中国にたいする原爆基地を提供し、ソヴェトとのあいだの戦争状態をいつまでもつづけておくことは、わが国民の利益と世界の平和にとってゆるしがたいことです。政府がこのような危険な対外政策をやめるようにすることが、内外政策の両面で、日本が自主独立の方向へふみきる重大な一歩となるのです。

昨年二月の総選挙ではアメリカ一辺倒の吉田自由党が敗北し、国民の切実な要求であるソヴェトとの国交回復を公約した鳩山民主党が勝利しました。ところが、昨年六月はじめてからロンドンでひらかれた日ソ交渉は、その後いっこうにすすまず、げんざい、交渉は中断していています。政府は国民の要望にそってすみやかに解決しようとはせず、かえって何とか難くせをつけて長びかすのではないかとあやぶまれています。

このように日ソ間の交渉がおくれているのは、ほかでもありません。別のお答でものべるように、アメリカが日本を原爆基地としてソヴェトや中国に敵対させ、国際緊張をつよめていることにふかい原因があるのです。アメリカとむすびついた日本の反動勢力も国民の民主的な権利をおさえ、ますます戦争体制をつよめるための憲法改悪をめざして、保守合同をしました。こういう努力をつづけている反動的

\* ソ同盟の石炭石油 1950 年を 100 とすると、1955 年には石炭 150、石油 187 のわりあいで生産がふえ、今後の生産計画ではさらにそれぞれ 238、356 になる予定が共産党第20回大会で明らかにされた。

指導者たちが、心から日ソ交渉を支持できないことはいうまでもありません。

しかし一方では、ソヴェトとの国交を熱望する国民の要求はますますたかまり、文化人や学者の交流もいままでになくひんばんになってきました。実業家のなかにも、経済交流をすすめるために国交回復に賛成する人びとがふえてきました。この国民の要求のたかまりは、政党政派や思想的立場をこえた日ソ国交回復国民運動として発展しています。

私たちは、国交を一日でも早く回復することが、日本の平和と民主主義を守り、さまざまの日ソ間の懸案をはじめて解決する道だということ、それが国民全体に大きな利益となるだけでなく、また日本の独立への第一歩であると考えます。そして国交回復をのぞむ国民の世論と行動をたかめ、全国民の国交回復の運動をもっと発展させていけば、日ソ交渉はかならず成功させることができると考えます。

ソヴェト同盟共産党第二〇回大会の決定でもあきらかにされていますように、いま世界の情勢には根本的な変化がおこっています。それは、ひと口でいえば、戦争の勢力よりも、平和の勢力がたちまさるようになったことです。そこで、国際緊張がやわらいだ状態を、さらに平和が長つづきできる状態へと転化させること、それによって戦争をふせぎとめてしまうことができる時代に入っているのです。

こうした状態にもなつて、ソヴェトがわでも、日ソ間の国交を正常にすることに大きな努力をはらつてきているのです。私たちも、これまでの努力をいっそうつよめて、この交渉をかならず成功させなければなりません。これを成功させる諸条件は、いまあるのです。